性暴力を、なくそう!
11月12日～25日「女性に対する暴力をなくす運動週間」

関連情報：４月１日～４月３０日は、若年層の性暴力被害予防月間です。

あなたは悪くない！

一人で悩まず、我慢しないで、勇気を出して！

※県内専用無料相談ダイヤル ☎0120―946―328

11月の予定

- ● 6日(日):視察研修 （日南町三栄）
- ● 4日(金):にこにこサロン
- ● 5日(土):子ども料理教室
- ●17日(木):フラワーアレジメント教室
- ●22日(火):はばたきよろず会議

みんなの料理教室　みんなで作ろう！ かんたん中華。(料理講習会)

●日時 ： １１月１３日（日）１０：００～１２：００ ●場所 ： はばたき人権文化センター

※マスク着用。当日は、はばたきまつりの会場設営をお願いします。ご協力をお願いいたします。

生活で困っていることはありませんか？

家族のこと・お金のこと・就職のこと・将来への不安など、どんなことでもどうぞ悩んでいることがあれば1人で抱えこまずにご相談ください。相談された内容は秘密厳守いたします。はばたき人権文化センターまでご相談ください。

差別落書きや差別発言などに遭遇した場合は、倉吉市人権政策課、又は、最寄りの人権文化センターまでご相談ください。

倉吉市生活産業部人権政策課 TEL0858-22-8130

はばたき人権文化センター TEL0858-22-0232

はばたき人権文化センターだより

はばたき

発行:はばたき人権文化センター
住所:〒682-0872
倉吉市福吉町２丁目 1514-7
電話:0858－22－0232(FAX兼)

11月号 NO.419 (2022年11月1日発行)

新型コロナ感染症の発症から3年、一昨年は感染症の正体もよく分からないまま、解放文化祭を中止し、火は絶やさないようにと「はばたき文化センター作品展」として開催しました。昨年もまた、感染拡大が危惧され、解放文化祭を開催することができず作品展をしました。

今年こそは、「福吉解放文化祭」開催と思いましたが、不安をぬぐうことはできず、規模縮小、感染対策を取り、Withコロナ、インフルエンザ予防に努めながら、「はばたきまつり」として実施することにいたしました。他者へ関心を寄せて、支え合い助け合える関係、地縁をつくりたいと考えています。コロナ禍で切れかかった地域の“つながり”の回復に少しでもなればと下記のとおり開催いたします。 皆様のご来場を職員一同、お待ちしております。

はばたきまつり

１１月 １８日（金） ９：３０～１７：００ 作品展

１９日（土） ９：３０～１７：００ 作品展

１０：３０～１４：００ チャリティバザー

★チャリティーバザーは、
はばたき文化センター2階の福吉児童センターが会場です。
作品をご覧いただき、2階でお買い物してください。

※換気をして行います。マスク着用、手・指の消毒にご協力をお願いします。

作品展には、聖テレジアこども園、ひまわり保育園、明倫小学校、社小学校、西中学校の児童・生徒の皆さんの作品、福吉児童センターの子どもたち、にこにこサロンのお年寄りや地域の福祉施設等の作品を展示いたします。センターのお便り以外に、「はばたきまつり」のチラシを別途、回覧・配布をさせていただき詳細をご案内します。どうぞよろしくお願いいたします。

≪10 月にこんなことしました≫

●にこにこサロン：　6 日(木)･20 日(木)

・**ミニ運動会**をしました。豆つかみ、魚釣り、もぐらたたき、ボーリング。みんなで楽しい時間を過ごしました。

●こども料理教室:15 日(土)

・開始時刻前集合。自分の手が空くと、次の作業を見つけ、配膳準備等、先を考えて行動できるようになってきました。継続は力なり。包丁使いも上達してきていますよ。

●寄せ植え教室:24日(月)～28日(金)

・はばたきまつりの玄関を飾る花の寄せ植えの鉢を一人ひとりが作りました。

11 月おすすめの本

『　恋するまえに　』

デート DV しない･されない10代のためのガイドブック

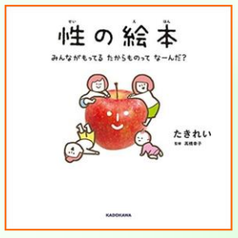
著:バリーレビィ　訳:山口　のり子/小野　リカ　　出版社:梨の木舎

１０代の人たちに、友人、親、家族、先生、カウンセラーなど他の人と一緒に読んで欲しい本です。

デート DV とは、結婚していない親密な交際相手からふるわれる暴力です。付き合っているなら、これって当たり前のこと？今、恋人がいる人も、いない人も考えてほしい。

恋人からの連絡には即返信?付き合っていれば、いつも一緒が当たり前。一緒にいるためならバイトもやめる。愛し合っていればどこでもキス OK？これって、あなたはどう思いますか。

「好きだから一緒にいたい、気持ちを通じ合わせたい」というのと、自分の思い通りに動いてほしい、「独り占めしたい」と相手をコントロールしようとする、「自分のもの」として扱うことは違うことです。



『　性の絵本　』

みんながもっているたからものってなんだ？

著:たき　れい　　監修:高橋　幸子　出版社:KADAKAWA

性のことを、子どもにどう教えようか、どうやって始めたらいいのか悩んでいませんか？

男性と女性の体の違いから、赤ちゃんができるまで、さらに犯罪者から身を守るためのコツを子どもにも伝わりやすい言葉と、可愛らしいイラストで伝えてくれます。

産婦人科の高橋幸子さん監修の小学生から読み聞かせで始められる絵本です。

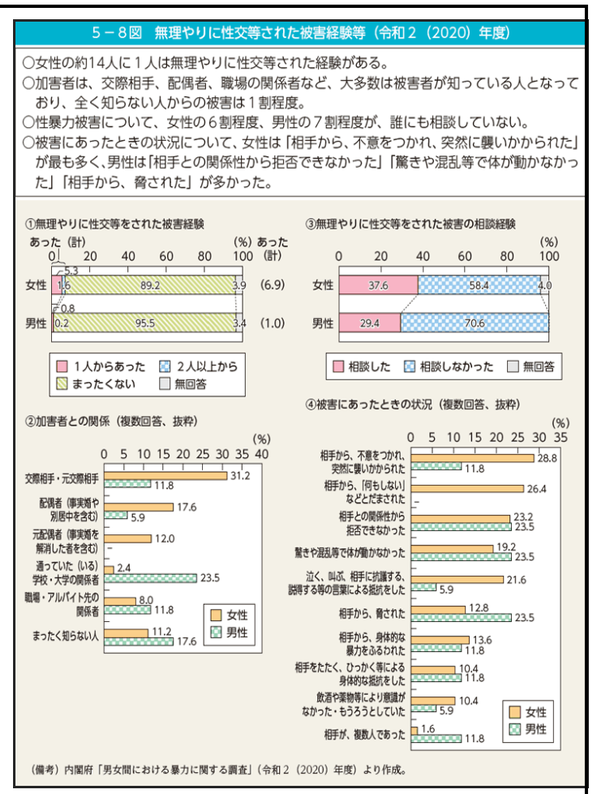
性犯罪・性暴力をみんなで防ごう

毎年、11 月 12 日～25 日(女性に対する暴力撤廃国際日)までの２週間、女性に対する暴力をなくする運動促進期間として定めています。女性に対する暴力の根底には、女性の人権の軽視があることから、女性の人権尊重のための意識啓発や教育の充実を図ることを趣旨として行われています。

右側の内閣府が公表している令和２年度の調査結果からもわかるように、多くの被害が報告されています。

若年層、特に思春期児童においては、男女ともに大人からの性暴力被害にあっっており、望まぬ妊娠をしてしまうケースでの相談件数も増加しています。

性暴力は、性別や年齢にかかわらず起こっており、見知らぬ人だけではなく、身近な人(家族を含む)や交際相手、配偶者から被害を受けることもあります。



【対策として】●「性暴力を、なくそう」をテーマに啓発を促進する

男女共同参画局は、ポスターやリーフレットを作成し周知に努めるとともに、女性に対する暴力根絶のシンボルであるパープルリボン運動や、リボンにちなんで東京スカイツリーをはじめ、全国のタワーや商業施設、お城などでもパープルライトアップを実施しています。

警察の窓口は、各都道府県の性犯罪被害相談窓口につながる全国共通番号(**#8103 ハートさん**)です。

アダルトビデオの出演被害や DV 被害で困っている方の支援相談先として、下記があります。

●性暴力被害にあう前に防ぐ、起こらないように、遭わないようにするためにはどうすれば・・・
子どもの時からの教育・・・命と性、権利の教育を!

幼児期から、自分の身体を知る。「水着で隠れるところは自分だけの大事なところだよ=プライベートゾーン」だと教え、他人のプライベートゾーンには触れない。小学校低学年では「大事なところ」について知る。高学年では、「境界線」、周りの人との距離について知る。中学校では、性暴力は権利の侵害であることを知る。高等学校では、性暴力の実態と社会の取り組みについて知る。

特に、小学校高学年から中・高校生には、SNS 利用への注意喚起と周囲の大人が利用について監督すること。相談を受けやすい関係を築いておくことが必要です。